

社外秘

機能的表示食品『ウエイトンα』 商品概要資料

届出受理済

2022年03月

ジェイフロンティア株式会社

※本提案書はお取引様への情報提供用として作成したものです。
いずれの表現・記載も一般消費者への情報提供や販促を想定したものではありませんので、広告制作の際は弊社の確認を取っていただけますようお願い申し上げます。



【商品概要①】 ウェイトンα

HEALTHY BALANCE SUPPORT

※1: 健康的な生活には、毎日のバランスの取れた食事と適度な運動が大切です。

肥満気味で
お腹の脂肪が気になる方へ

葛の花由来
イソフラボン
35mg 配合
一日摂取目安量
(3粒当たり)

葛の花由来イソフラボン(テクトリゲニン類として)が
肥満気味の方の体重や
おなかの脂肪の減少を助ける
エネルギー消費を高める。
※3 日常生活活動時や運動時(3.5メッツ程度)のカロリー消費を高める

WEIGHTON
ウェイトンα

機能性表示食品
届出番号: F991

90粒入 30日分
一日摂取目安量 3粒

●イラスト・写真はイメージです。
※2: お腹の脂肪とは、内臓脂肪と皮下脂肪のことです。
食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

私たちジェイフロンティア(株)は、
酵水素328選ブランドを筆頭に、これまで
60万人以上の方のダイエットサポートをしてまいりました。

体重を減らしたい、お腹の脂肪を減らしたい。
そんな皆様のご要望にお応えすべく、
「**体重の減少**」「**お腹の脂肪の減少**」を助ける
“葛の花イソフラボン”を配合した『ウェイトン葛の花』の開発
が成功。2018年、機能性表示食品として販売を開始しました。
さらに、2021年には「**エネルギー消費を高める**」届出表示も
受理され、さらに皆様に応援します。

機能性成分の“葛の花イソフラボン”だけでなく、
こだわりの乳酸菌・ビタミン・CoQ10も配合。
ダイエットのサポートとして、
ぜひお守りがわりに使っていただきたい
商品となっております。

【商品概要②】

ウエイトンα

社外秘



機能性表示食品 届出番号：F991

原材料名	還元パラチノース、葛の花エキス、有孢子性乳酸菌、コエンザイムQ10/セルロース、シヨ糖脂肪酸エステル、二酸化ケイ素、ナイアシン、ビタミンB6、ビタミンB2、ビタミンB1
届出表示	本品には、葛の花由来イソフラボン（テクトリゲニン類として）が含まれます。葛の花由来イソフラボン（テクトリゲニン類として）には、日常生活活動時や運動時(3.5メッツ程度のもの)のエネルギー消費（カロリー消費）を高める機能があることが報告されています。また、肥満気味な方の、体重やお腹の脂肪（内臓脂肪と皮下脂肪）やウエスト周囲径を減らすのを助ける機能があることが報告されています。
剤型	タブレット
仕様	①300mg×90粒/アルミパウチ（30日分） ②300mg×30粒/アルミパウチ（10日分）
お召し上がり方	1日当たり3粒を目安にお召し上がりください。 嚙まずに、水またはぬるま湯でお召し上がりください。

30日分仕様 パッケージ

【商品概要③】 ウェイトンα

研究レビュー

『体重やお腹の脂肪の減少を助ける』

※「関与成分」以外で機能性を示唆する表現及び強調する表現は出来ません。
※写真はイメージです。

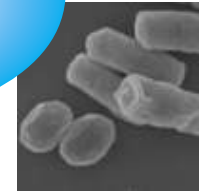
機能性関与成分

葛の花由来イソフラボン
(テクトリゲニン類として)
35mg/3粒当たり

脂肪の代謝を促し、
体脂肪を減らす

有孢子性乳酸菌

1億個/3粒当たり
(有効量)



腸内環境改善に寄与！

- ①便の性状改善
- ②排便回数増加
- ③排便時の不快感減少
- ④便臭改善



独自素材

「葛の花エキス」で
一般サプリメントと
差別化！

充実の副素材

- ・コエンザイムQ10
- ・ビタミンB1、B2、B6、ナイアシンたっぷり

《葛の花エキスにおける取得特許》

特許
4879741号

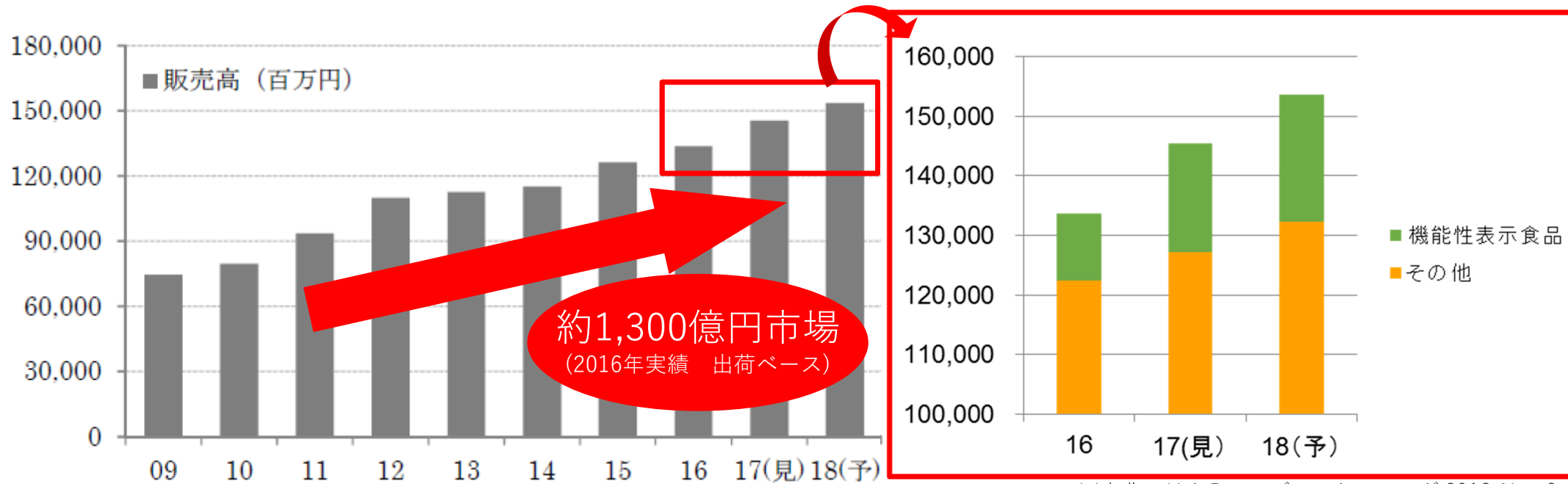
葛花処理物を有効成分とする、
体脂肪低減剤。

葛の花で
ダイエットの
特許を取得

下記食品添加物は使用していません。
甘味料、着色料、増粘安定剤、
苦味料、光沢剤、香料

ダイエットサプリメント市場概況

■ダイエットサプリメント市場動向 ■機能性表示食品(ダイエット)の市場動向



※出典：H & B フーズマーケティング 2018 No.2

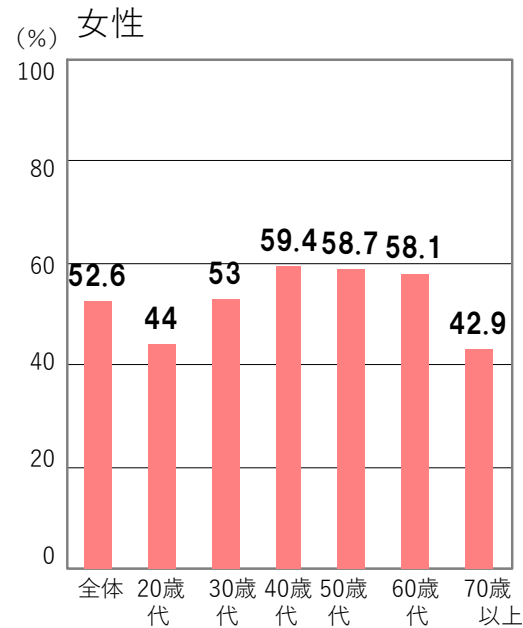
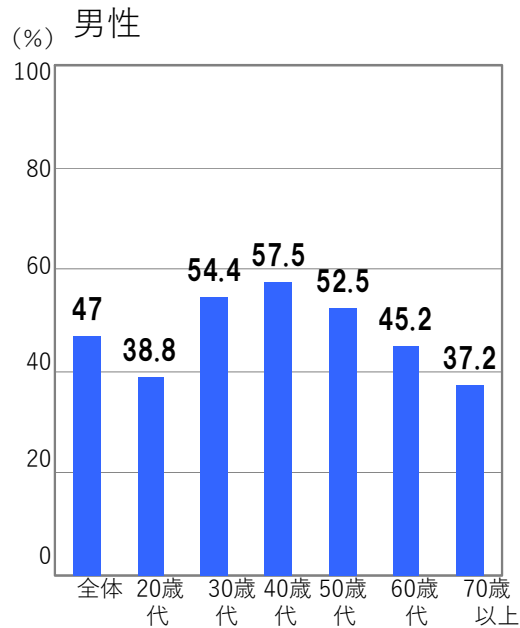
ダイエットサプリ市場は**堅調**な動き。
機能性表示食品が急激に売上を伸ばしている。

ダイエットの失敗理由は食事制限のストレス

●自分は太っていると思う人

2人に1人

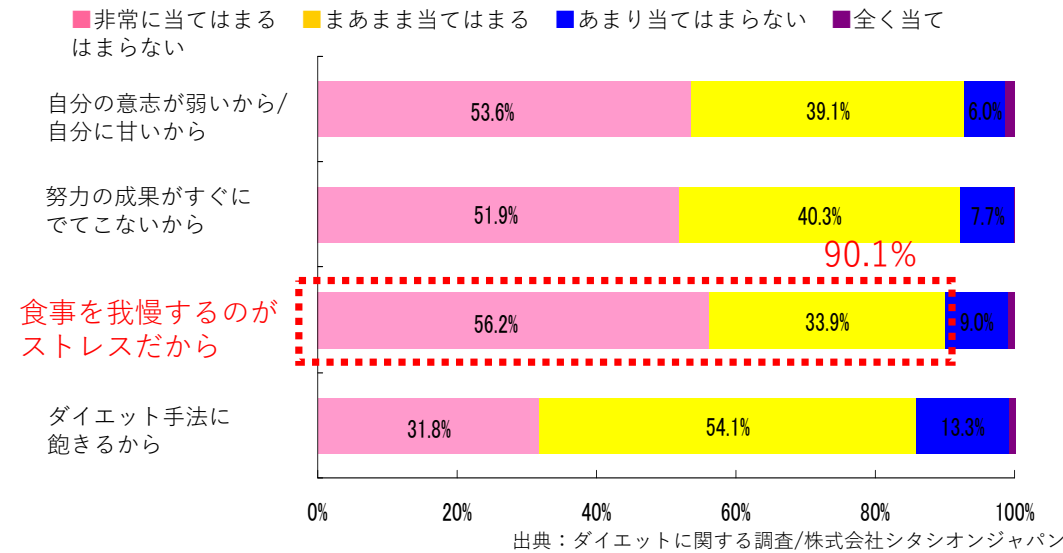
男女ともに、30代以上になるとほぼ半数以上の方が「自分は太っている」と思っています。



出典：厚生労働省「平成20年国民健康・栄養調査」

ニーズの高いダイエット市場！

●現在・過去ダイエットの失敗の理由 n=300

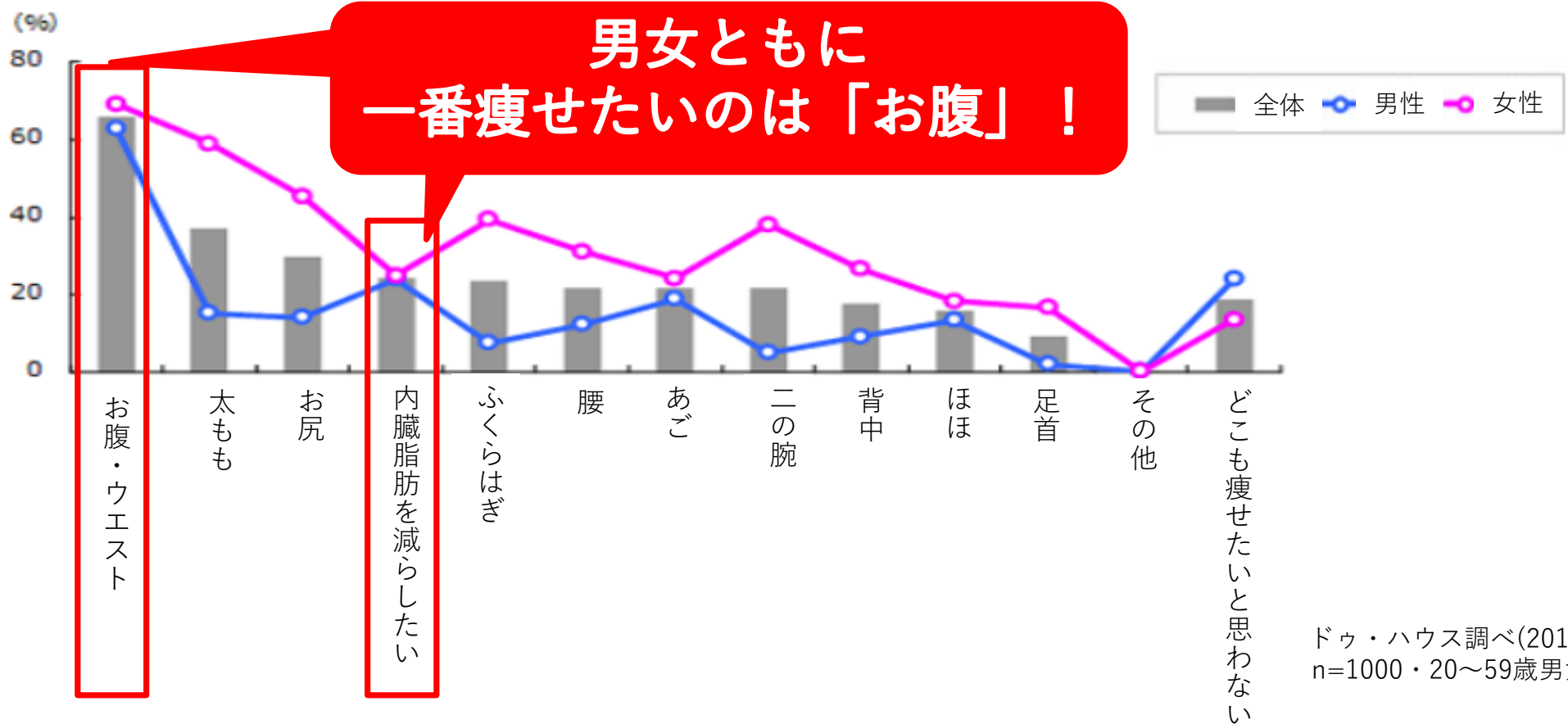


9割もの人が食事制限の
ストレスによりダイエットに失敗

食事制限をしない
ダイエットサプリの
ニーズが高い

「お腹の脂肪」を減らすニーズは高い

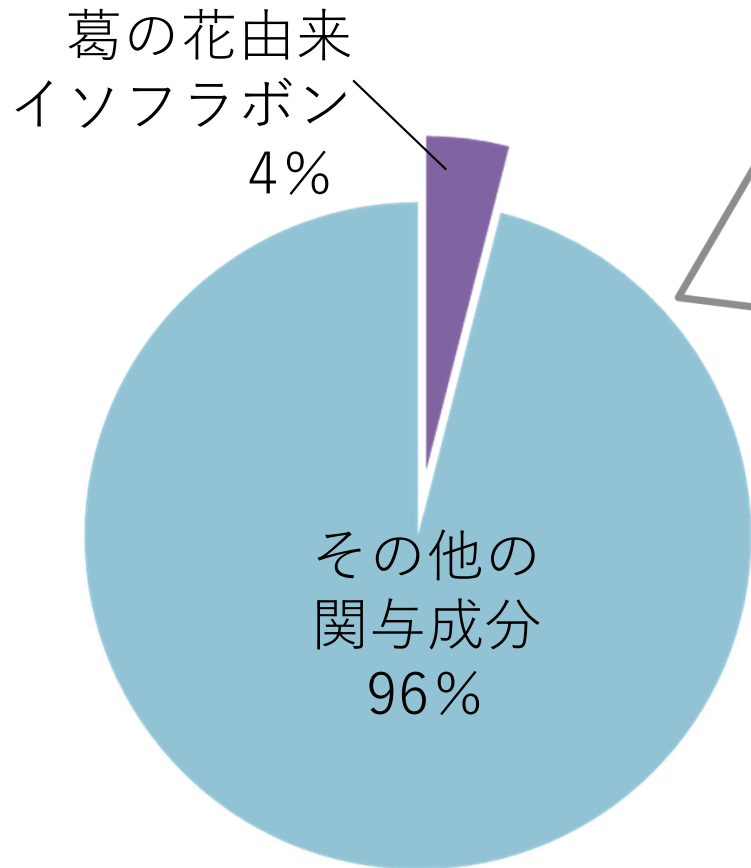
痩せたい部位（複数回答・n=1,000）



脂肪の中でも「お腹」を気にする人が多い

「お腹の脂肪」を減らす葛の花由来イソフラボン

■機能性表示食品における、 「関与成分：葛の花由来イソフラボン」の市場規模



●機能性表示食品 2017年市場規模

約**1,716億円** (見込)

※富士経済 H・B フーズマーケティング便覧2018 No.3 (出荷金額ベース)

●機能性表示食品「関与成分：葛の花由来イソフラボン」商品の市場規模

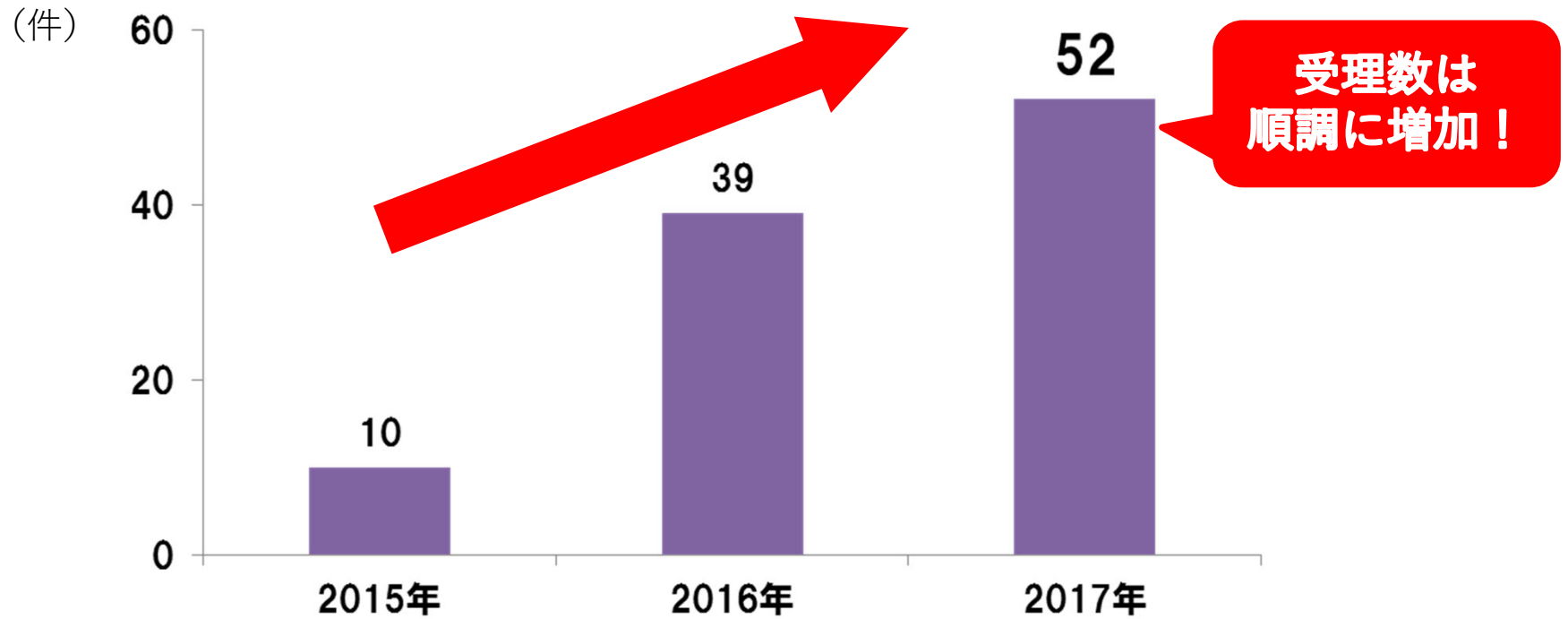
約**69億円** (推定値)

※機能性表示食品の受理済全体商品中、「関与成分：葛の花由来イソフラボン」商品の割合を算出。全体の市場規模の約4%と推定。

葛の花由来イソフラボンは
お腹の脂肪を減らすのを助ける訴求ができる関与成分

葛の花由来イソフラボンの商品受理推移

■ 「関与成分：葛の花由来イソフラボン」 商品受理数推移



※消費者庁 機能性表示食品届出情報検索より算出

葛の花由来イソフラボンは成長市場の機能性表示食品とともに、
今後も伸長が期待できる関与成分であると考えられる。

葛はこれまで主に根が使われてきた

葛の根を乾燥させた葛根は、発汗、解熱、鎮痛剤として漢方で盛んに使われている

「葛根湯」の主原料です。薬用にはこれまで、一般的に根が用いられてきましたが、その花にも高い効能があることが明らかになりました。

水戸光圀も愛用した葛の花

水戸黄門としても知られる水戸光圀。

しばしば二日酔いに悩まされるなど、酒豪ぶりが伝えられています。二日酔いの苦しみを癒すため葛の花を、愛用していたと言われています。

その愛用ぶりが知られていたのか、光圀への献上品には、葛から作られた品が多かったそうです。



※写真はイメージです。

光圀の指示で編集した 書物でも紹介

葛の花の効用は、光圀が水戸藩の藩医に命じて編集した「救民妙薬（1693年）」にも紹介されています。

葛の花抽出物とは

花の部分だけを手作業で収穫

葛の花は中国の南部で自生しているものを使用。
花の部分のみを収穫するために一つ一つ手摘みで収穫
しています。



肥満改善作用は実は偶然の発見！

研究を開始した2004年当時はメタボブームだったため、メタボに効果のある素材を探しており、様々な素材をスクリーニングしていました。実は葛の花抽出物に対して効果は期待されていませんでしたが、予想外にも**葛の花抽出物が体脂肪に対して、高い効果**がある事が分かりました。

そこで、葛の花抽出物の体脂肪に関する作用に対して研究を重ね、**10年以上の歳月**をかけて、現在の機能性表示食品に辿りつきました。



※写真・イラストはイメージです。

葛の花抽出物の製法

葛の花抽出物の開発当初は沈殿物が多く、また機能性関与成分である葛の花由来イソフラボンの含量を一定化する事ができませんでした。そのため検討に検討を重ね、現在の高品質な葛の花抽出物の製法を確立させました。

◆有機溶媒を使わない自然な製法

エタノールといった有機溶媒では安心・安全なものを提供できないと考え、古くから葛の花を利用していたお茶の抽出に近い、**葛花熱水抽出法**を採用しました。



◆時間をかけて抽出

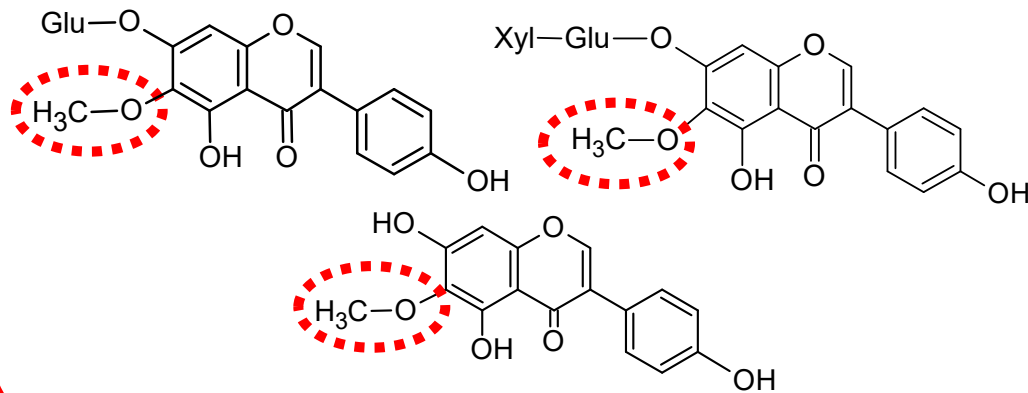
葛の花由来イソフラボンを一定量抽出するためには、高温で長時間抽出する事が重要。**葛花熱水抽出法**は**高温の熱水で時間をかけて抽出**しています。そのなかでも機能性関与成分を可能な限り多く含む抽出液を使用しています。

※写真はイメージです。

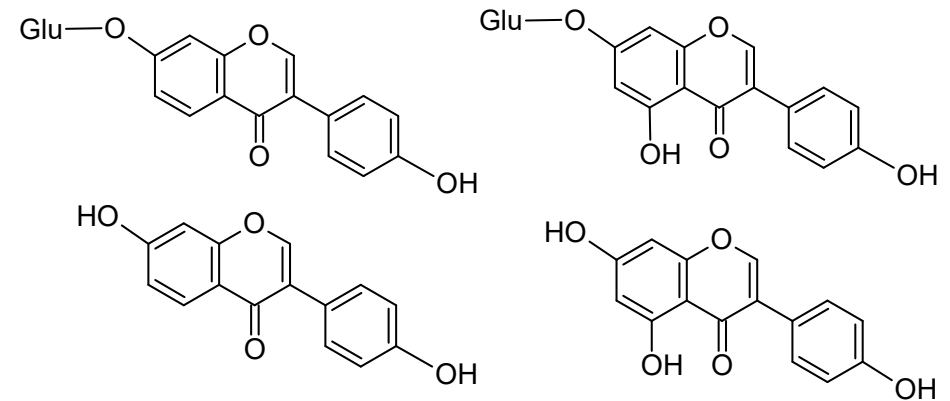
葛の花由来イソフラボンの構造と機能

■大豆由来と構造が違う葛の花由来イソフラボン

主要な葛の花由来イソフラボン



主要な大豆由来イソフラボン



一般的に、成分の構造が異なると機能も異なると言われています。

葛の花由来イソフラボン

お腹の脂肪を減らすのを助ける

大豆由来イソフラボン

女性のバランスサポート

※大豆由来イソフラボンの体脂肪低減に関するヒトでの研究報告はほとんどありません。(当社調べ)

葛の花由来イソフラボンの作用機序イメージ

※メカニズムは考察でありヒト試験により検証されたものではありません。

■葛の花由来イソフラボンがお腹の脂肪を減らすメカニズム※1

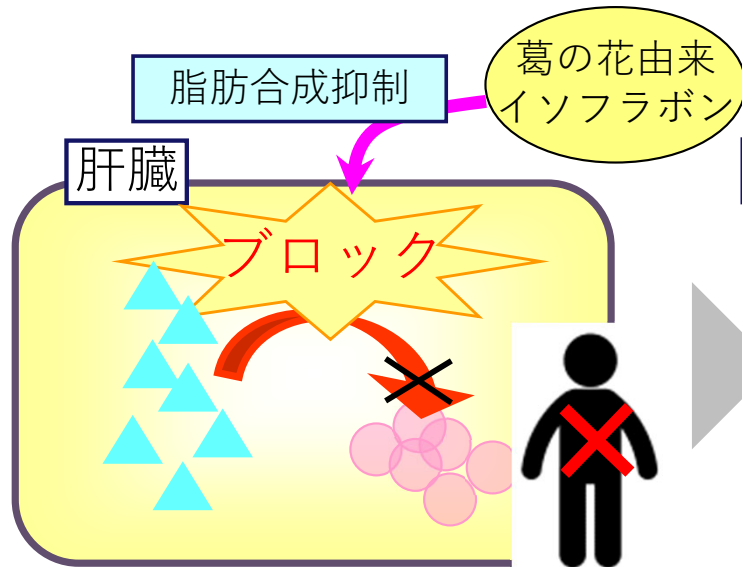
葛の花由来イソフラボン（テクトリゲニン類として）には、

- ①肝臓で脂肪の合成を抑え、
- ②白色脂肪での脂肪の分解と、
- ③褐色脂肪での脂肪の燃焼を促進する働きが知られています。 ※2

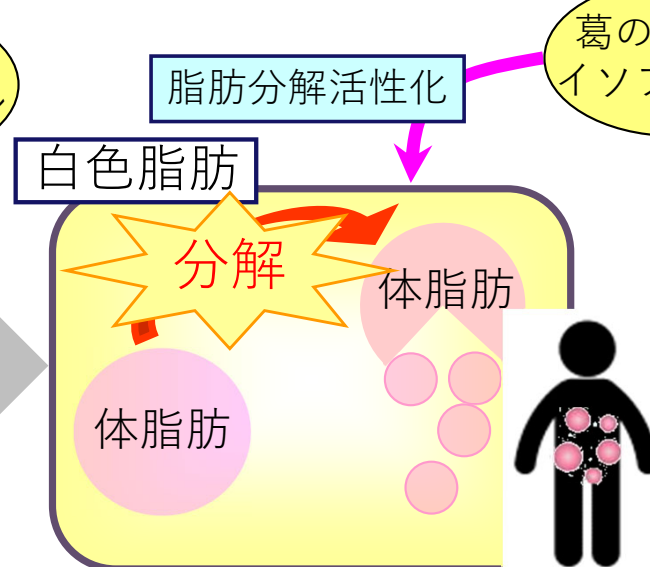
● 脂質

▲ 食事に含まれる糖や脂肪などに由来する脂肪前駆物質

①脂肪の合成を抑える



②脂肪の分解を促進する



③脂肪の燃焼を促進する



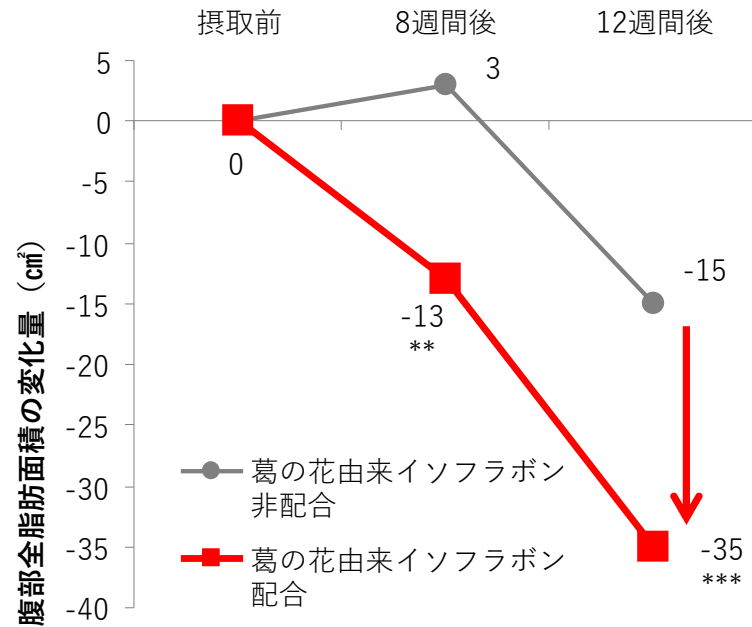
※1：動物を用いた試験等の結果から考えられるメカニズム

※2：Kamiya et al., Evid Based Complement Alternat Med., 2012, 272710, 2012
Kamiya et al., Glob J Health Sci., 4, 147-155, 2012

※イラストはイメージです。

葛の花由来イソフラボンの 機能性研究レビュー試験結果の一例①

おなかの脂肪※の減少量



おなかの脂肪※の断面積が、
3ヶ月で20cm²も減少した (対非配合品)

神谷ら：機能性食品と薬理栄養, 7(3), 233-249, 2012より作図

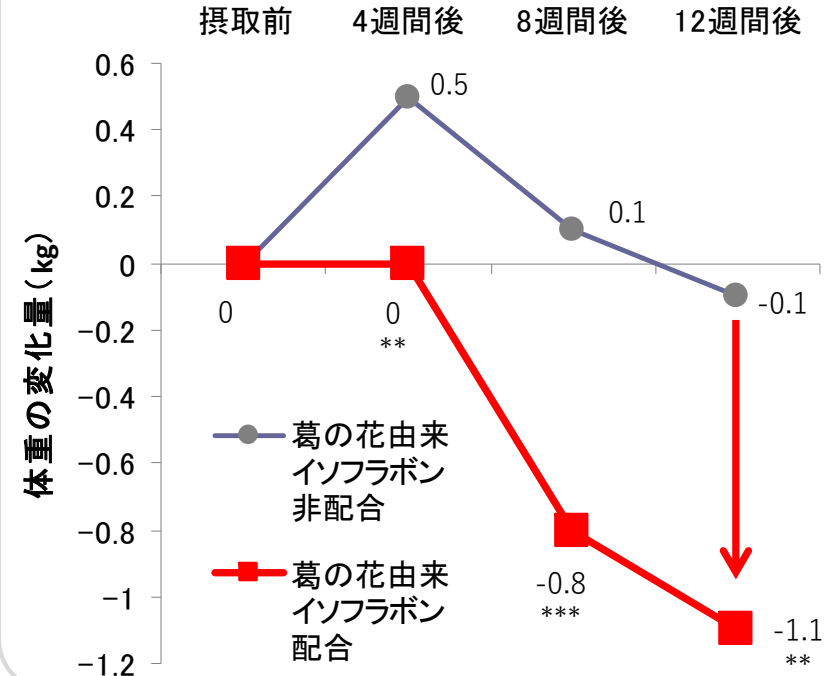
p<0.01 *p<0.001(対照食品との比較)

―試験概要―

- ・ 摂取方法：試験食品または対照食品を1日1回12週間摂取
- ・ 1日の摂取エネルギー 1900kcal程度、平均歩数9000歩程度
- ・ 対象者：BMIが25~30、20~65歳の男女
- ・ 対象者数：試験食品50人 対照食品47人
- ・ 葛の花由来イソフラボン（テクトリゲニン類として）の摂取量
：試験食品 35 mg/日 対照食品 0 mg/日

※研究レビュー採用文献のうち、商品と同量の葛の花由来イソフラボンを
摂取させた臨床試験の結果

体重の減少量



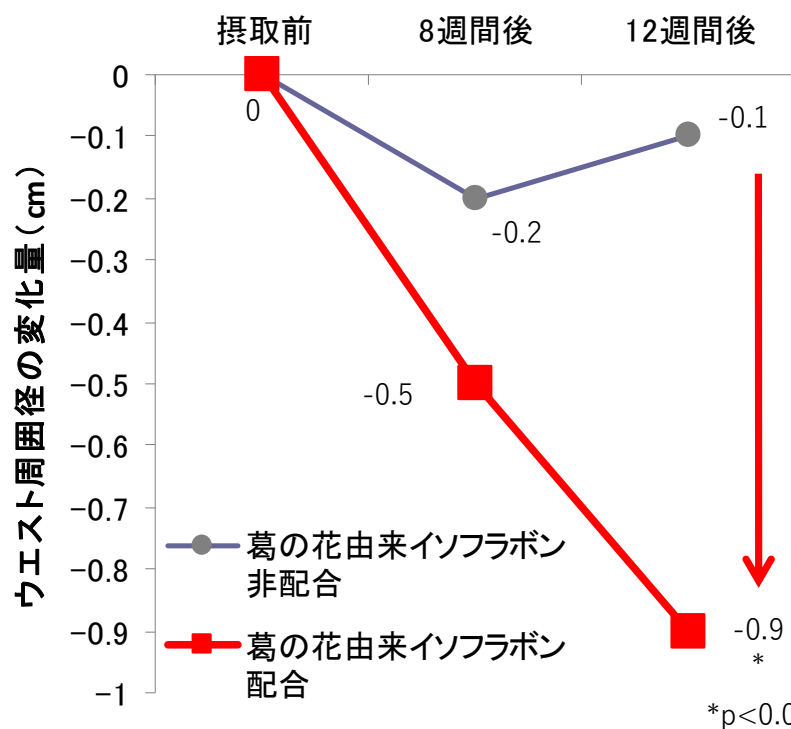
体重が3ヶ月で1.0kg減少した (対非配合品)

神谷ら：機能性食品と薬理栄養, 7(3), 233-249, 2012 より作図。

p<0.01 *p<0.001(対照食品との比較)

※おなかの脂肪とは、腹部全脂肪面積を指す。
※※研究レビュー採用文献のうち、商品と同量の葛の花由来
イソフラボンを摂取させた臨床試験の結果

ウエスト周囲径の減少量



試験概要

- ・ 摂取方法：試験食品または対照食品を1日1回12週間摂取
- ・ 1日の摂取エネルギー 1900kcal程度、平均歩数9000歩程度
- ・ 対象者：BMIが25~30、20~65歳の男女
- ・ 対象者数：試験食品50人 対照食品47人
- ・ 葛の花由来イソフラボン（テクトリゲニン類として）の摂取量
：試験食品 35 mg/日 対照食品 0 mg/日

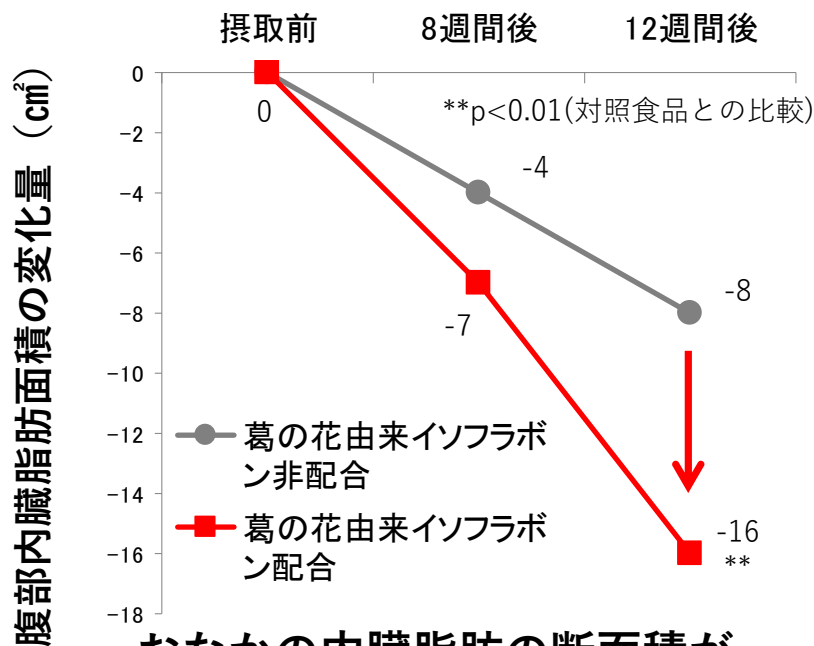
※研究レビュー採用文献のうち、商品と同量の葛の花由来イソフラボンを摂取させた臨床試験の結果

神谷ら：機能性食品と薬理栄養, 7(3), 233-249, 2012より作図

3 研究からの抜粋

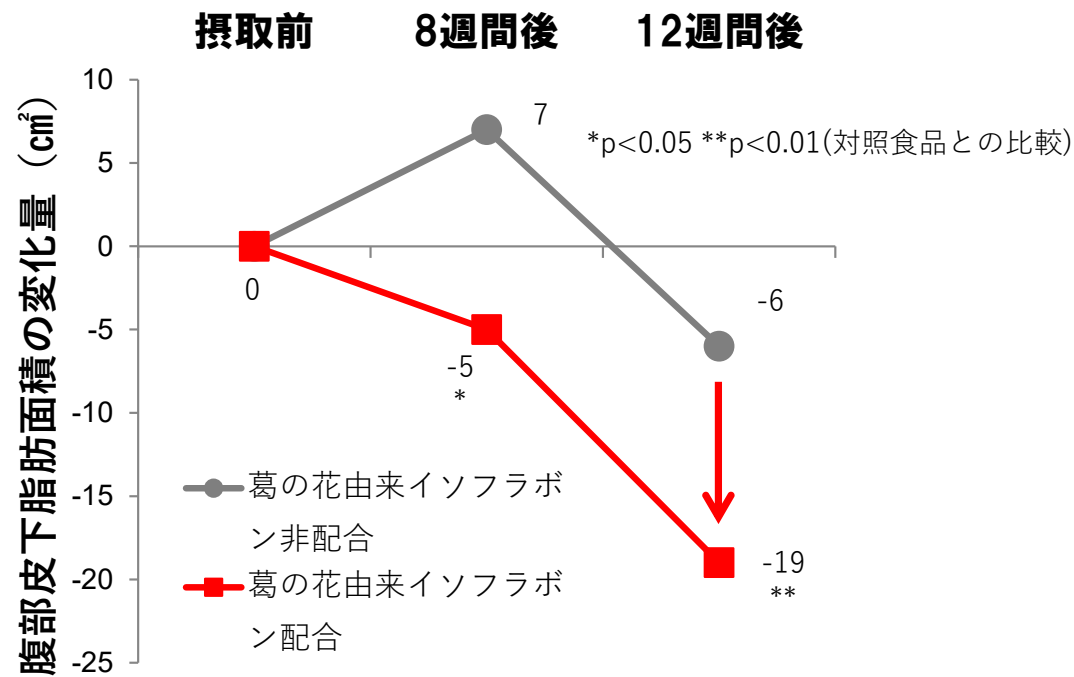
ウエスト周囲径が **3ヶ月で0.8cm**
減少した (対非配合品)

おなかの内臓脂肪の減少量



おなかの内臓脂肪の断面積が、
3ヶ月で8cm²減少した (対非配合品)

おなかの皮下脂肪の減少量



おなかの皮下脂肪の断面積が、
3ヶ月で13cm²減少した (対非配合品)

試験概要

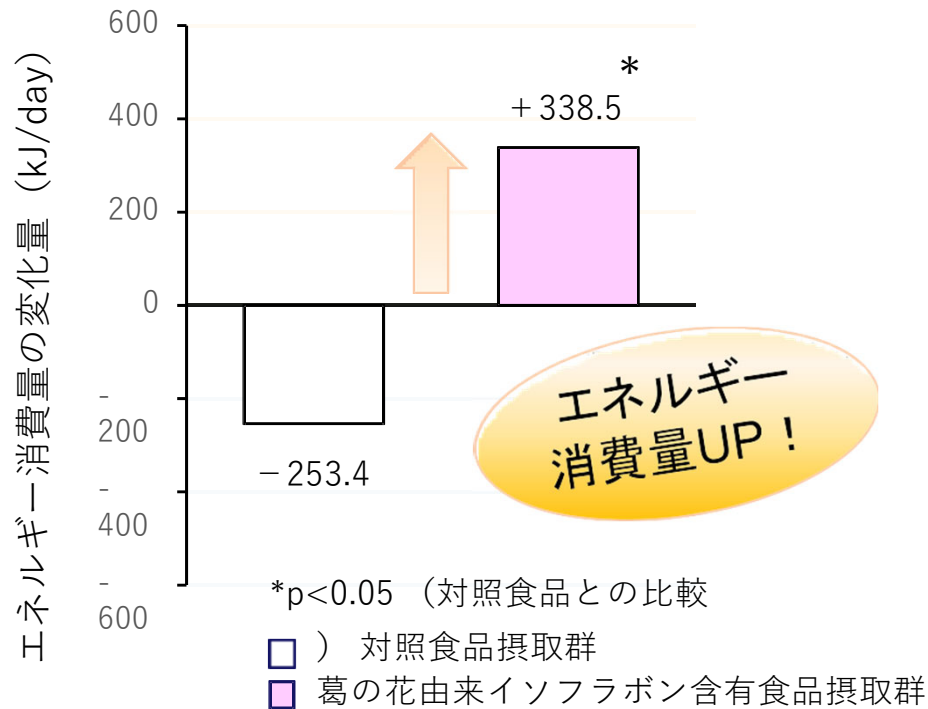
- ・ 摂取方法：試験食品または対照食品を1日1回12週間摂取
- ・ 1日の摂取エネルギー 1900kcal程度、平均歩数9000歩程度
- ・ 対象者：BMIが25~30、20~65歳の男女
- ・ 対象者数：試験食品50人 対照食品47人
- ・ 葛の花由来イソフラボン（テクトリゲニン類として）の摂取量
：試験食品 35 mg/日 対照食品 0 mg/日

※研究レビュー採用文献のうち、商品と同量の葛の花由来イソフラボンを摂取させた臨床試験の結果

神谷ら：機能性食品と薬理栄養, 7(3), 233-249, 2012より作図

エネルギー消費量に関する研究結果

エネルギー消費量の変化量 (ΔEE)



永峰ら：薬理と治療，48，835-841，2020より作図

一試験概要一

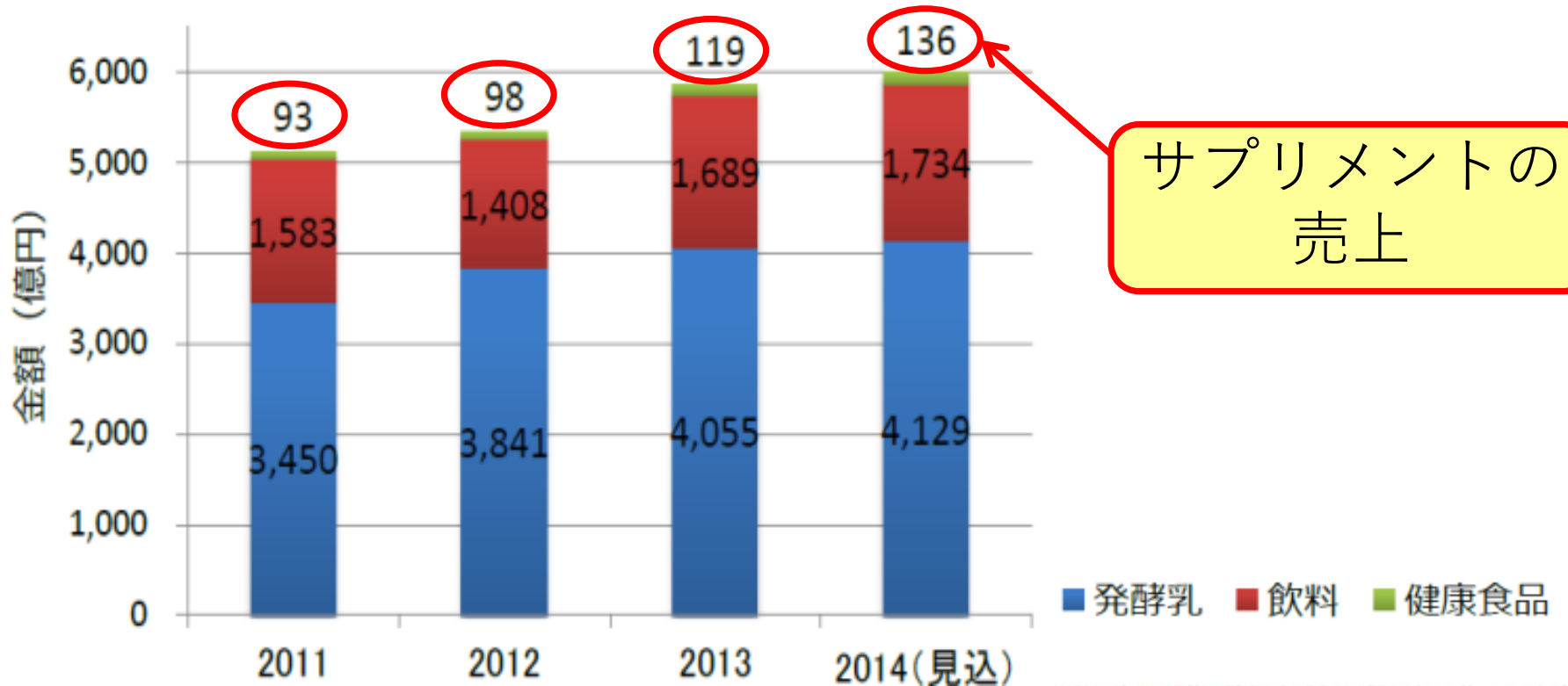
- ・対象者：30～39歳の健常な男性、BMIが20以上25未満
- ・対象者数：試験食品27人 対照食品34人
- ・試験食品：葛の花由来イソフラボン（テクトリゲニン類として）35 mg/日、対照食品：葛の花由来イソフラボン（テクトリゲニン類として）を含まない
- ・試験方法：試験食品または対照食品を1日2粒、8週間摂取させた。0週と8週後に自転車エルゴメーターによる40分間の運動負荷（3.5METs程度※）を行い、呼気代謝を測定した。8週摂取後のエネルギー消費量の変化量(8週検査-0週検査)を評価した。
- ・試験期間中は、試験開始前と同様の生活を送ること、多量のアルコール摂取をしないこと、エネルギー代謝に影響を及ぼす可能性のある健康食品類などの使用を避けること、摂取開始日の1週間前から大量のカフェインを含む飲料や食品の摂取を避けること、各検査2日前からアルコール摂取を避けること、各検査前日は日常生活活動以外の自発運動を避けることなどを、注意事項として被験者に説明した

※3.5メッツ程度の運動負荷は、散歩や掃除機かけ、モップがけ、洗濯物干し、庭の草抜き、子供と遊ぶ、釣り、自転車に乗る（8.9km/h）、ゴルフ、トランポリン、ヨガ、卓球等の日常生活活動や運動と同程度の運動強度です

エネルギー消費量の0Wから12Wまでの変化量は、葛の花由来イソフラボン（テクトリゲニン類として）35mg/日の摂取により、有意に増加することが確認されました

『ウエイトンα』では、抗肥満作用に加え、
「エネルギー消費量の増加」を表示することが可能となりました

■ 乳酸菌商品 分野別売上推移



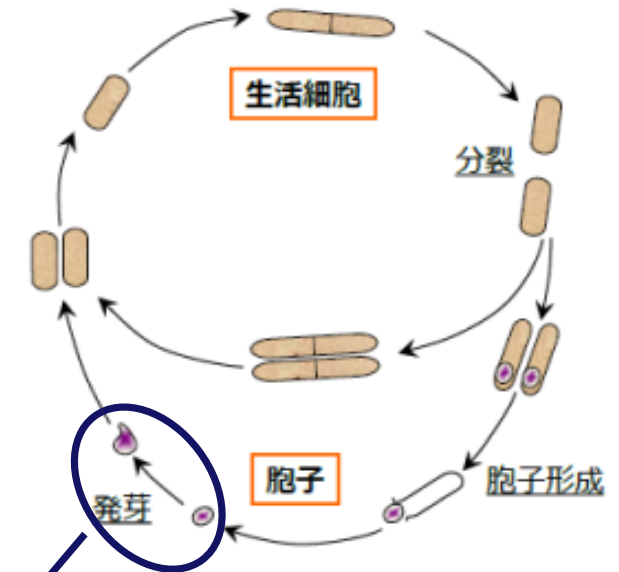
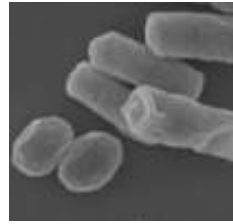
引用：2015年食系企業の乳酸菌事業戦略調査（総合企画センター大阪）

サプリメントの売り上げも **堅調**に推移

有孢子性乳酸菌

■ 有孢子性乳酸菌 (生菌)

- 生きて腸まで届く乳酸菌
- 酸・熱に強い
- 大腸まで届き、発芽する (体感性)
- 大腸内で増殖を続け、善玉菌 (ビフィズス菌など) が住みやすい環境をつくる。



有孢子性乳酸菌ライフサイクル

有孢子性乳酸菌の特長

イメージ

有孢子性乳酸菌



孢子を形成するため、耐酸性に優れ、**生きたまま腸に到達!!**

一般的な乳酸菌

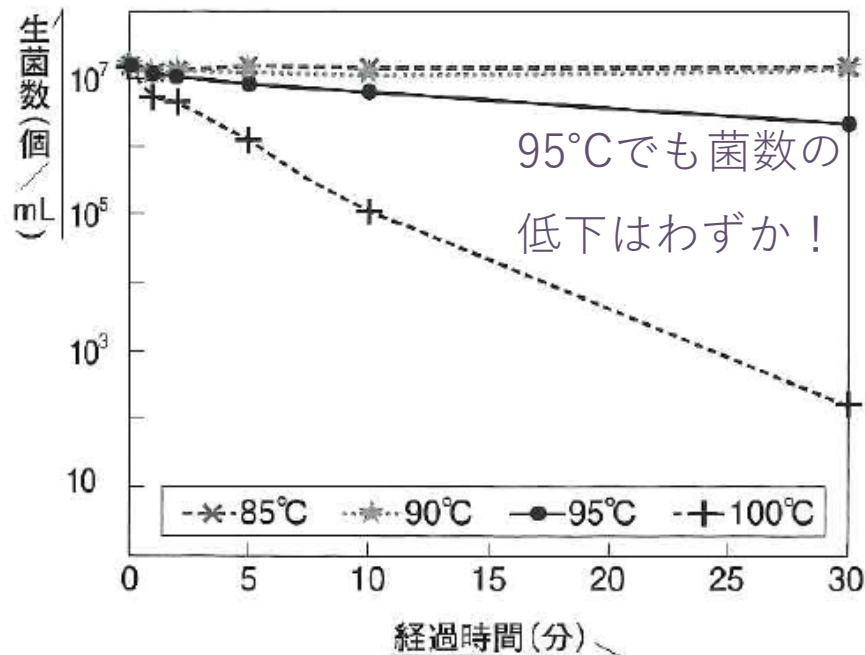


熱や酸素、酸に弱いため、**生きたまま腸に届きにくい。**

有孢子性乳酸菌の生菌の安定性

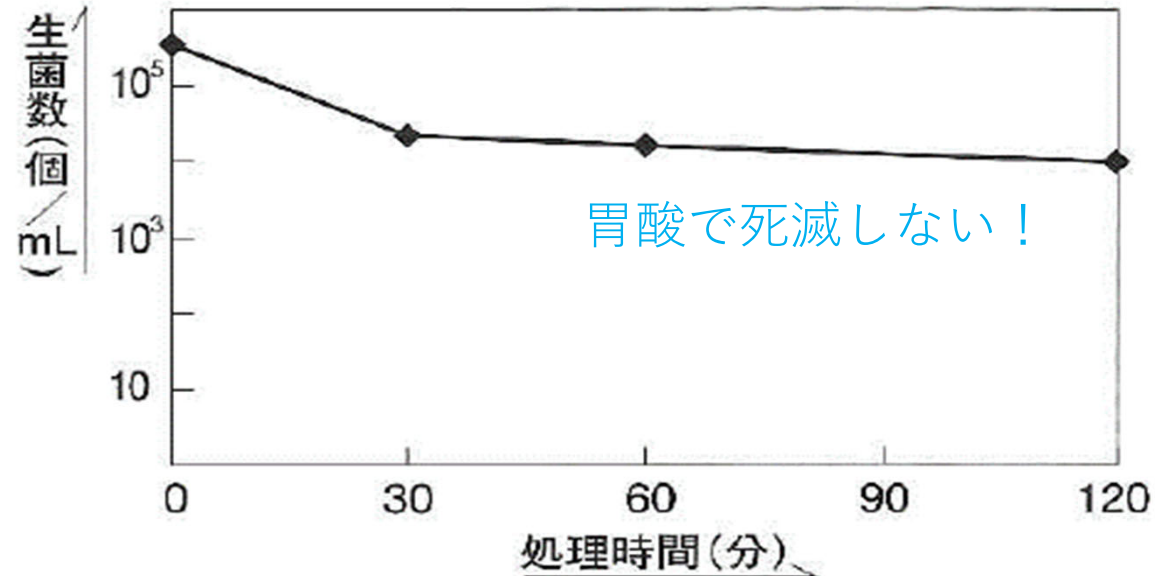
耐熱性：

腸内温度を超える75℃、85℃の条件下でも菌数は安定している。



耐酸性：

人工胃液pH2.0条件下でも菌数は安定している。



※0623

Point!



熱、酸に対する安定性が高いため、有孢子性乳酸菌の多くが「生きたまま腸に届く」と考えられます。

有孢子性乳酸菌の有効性

■ 便秘改善効果

健康な成人女性28名

- ・1.0億個/gの有孢子性乳酸菌
(2週間摂取)
- ・食事制限無し

- ・便の性状（色、形）が明らかに改善
- ・排便回数が有意に増加
- ・排便時の不快感が減少
- ・便のにおいが薄くなる傾向

健常者の腸内環境改善に寄与

Progress in Medicine Vol.17 No.12 page3299-3302 (1997)

2週間で効果あり！有効量配合

コエンザイムQ10

CoQ10とは

脂溶性の物質で、体内では補酵素として

- ① エネルギー（ATP）産生
- ② 抗酸化

の2つの働きに関与しています。

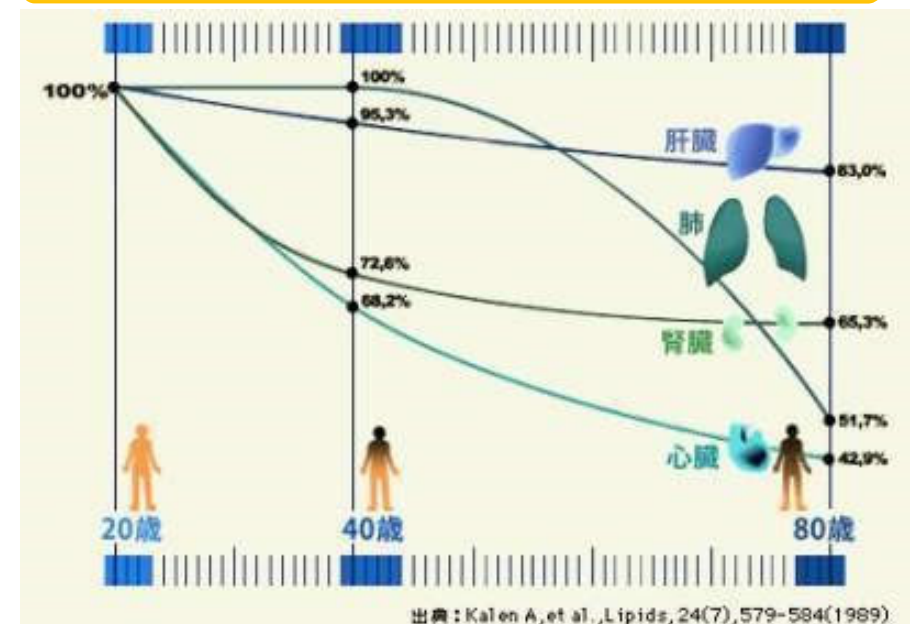
※0625

食物に含まれるCoQは僅か



出典: Kamei et al., Internat. J. Vit. Nutr. Res. 56(1986) 57-63
 "The Distribution and Content of Ubiquinone in Foods" より

CoQ10は20代をピークに減少



ビタミン類

栄養成分	配合量 (3粒当たり)	栄養機能表示
ビタミンB1	0.36mg	炭水化物を分解してエネルギーを取り出すのに必要なビタミン。 脂肪の原因の1つである糖質をエネルギーに変える働きがあります。成長促進、 心臓の機能の安定、神経の正常化、消化液の分泌などにも関連します。※0215
ビタミンB2	0.42mg	エネルギー代謝の中心的な役割を果たす水溶性ビタミンの1つ。 特に脂肪をエネルギーとして利用する際に必要です。 また、他のビタミンの働きにも関与し、ビタミンB2の欠乏は多くの 代謝系に影響を与えるため、正常な発育に欠かせないビタミンです。 皮膚、爪、髪の毛の健康を維持する、脂質の代謝を促進するなどと言われています。 ※0625
ビタミンB6	0.39mg	神経伝達物質のギャバや赤血球の色素成分、核酸などを合成するのに 欠かせないビタミンです。不足すると湿疹や口角炎、貧血、ふけ症などを 起こしやすくなります。※0266
ナイアシン	3.9mg	ニコチン酸とニコチンアミドの総称で、活性型補酵素として、 生体内でエネルギー産生や、脂質の代謝、アミノ酸代謝などに関与するビタミンです。 生体内ではトリプトファンから合成され、脳神経の働きを助ける、 血行をよくするなどと言われています。※0625

他社 機能性葛の花商品①

■ ダイエット市場 占有上位商品 (保健機能食品)

- ・ 9・10位も葛なので、占有上位10品のうち、5品が葛！
この分野でメジャーな素材となりつつある。
- ・ 占有状況は全体の7割が通販！

	-	3位	5位	6位
	ジェイフロンティア ウエイトン 葛の花	ステップワールド ヘラスリム	ハーブ健康本舗 シボヘル	オンラインフ スリムフォー
				
通常価格(税込)	-	¥ 5,600	¥ 3,219(通常価格)	¥ 10,584(通常価格)
仕様	①300mg×90粒 30日分 ②300mg×30粒 10日分	250mg×180粒 15日分	300mg×120粒 30日分	300mg×120粒 30日分
一日摂取目安量	3粒	12粒	4粒	4粒
関与成分量	35mg	42mg	35mg	35mg
届出表示	本品には、葛の花由来イソフラボン（テクトリゲニン類として）が含まれます。葛の花由来イソフラボン（テクトリゲニン類として）には、肥満気味な方の、体重やお腹の脂肪（内臓脂肪と皮下脂肪）やウエスト周囲径を減らすのを助ける機能があることが報告されています。肥満気味な方、BMIが高めの方、肥満気味でお腹の脂肪やウエスト周囲径が気になる方に適した食品です。	本品には、葛の花由来イソフラボン（テクトリゲニン類として）が含まれるので、 肥満気味な方の内臓脂肪（おなかの脂肪）を減らすのを助ける機能 があります。	本品には、葛の花由来イソフラボン（テクトリゲニン類として）が含まれます。葛の花由来イソフラボン（テクトリゲニン類として）には、 肥満気味な方の、体重やお腹の脂肪（内臓脂肪と皮下脂肪）やウエスト周囲径を減らすのを助ける機能 があることが報告されています。肥満気味な方、BMIが高めの方、お腹の脂肪が気になる方、ウエスト周囲径が気になる方に適した食品です。	本品には、葛の花由来イソフラボン（テクトリゲニン類として）が含まれます。葛の花由来イソフラボン（テクトリゲニン類として）には、 肥満気味な方の、体重やお腹の脂肪（内臓脂肪と皮下脂肪）やウエスト周囲径を減らすのを助ける機能 があることが報告されています。肥満気味な方、BMIが高めの方、お腹の脂肪が気になる方、ウエスト周囲径が気になる方に適した食品です。
その他素材	有胞子性乳酸菌1億個、 コエンザイムQ10、ビタミンB1、 ビタミンB2、ビタミンB6、 ナイアシン	-	-	-

届出表示の内容は他社と同等！
しかも
一日摂取目安量が少なく、
副素材も充実！！

他社 機能性葛の花商品②

■ 知名度のあるブランド商品へも採用



機能性表示食品

からだ十六茶／アサヒ飲料

発売日：2018年9月

訴 求：内臓脂肪、脂肪、糖

【ヘルスクレーム】 1.内臓脂肪を減らすのを助ける。
2.食後の脂肪の吸収を抑える。
3.食後の糖の吸収をおだやかにする。

仕 様：630mlPET

価 格：¥158（税抜）

※HP参照